

① 精神病床における多職種協働の推進

第１ 基本的な考え方

多職種の配置による質の高い精神医療の提供を推進する観点から、急性期等の入院料における精神保健福祉士、作業療法士又は公認心理師の病棟配置について新たな評価を行う。

第２ 具体的な内容

精神病棟入院基本料及び特定機能病院精神病棟の 13 対 1 入院基本料並びに 15 対 1 入院基本料並びに精神科急性期治療病棟入院料 2 において、精神保健福祉士、作業療法士又は公認心理師を配置した際の評価として、「精神病棟看護・多職種協働加算」を新設する。

改 定 案	現 行
<p>【精神病棟入院基本料】 [算定要件] 注 1～6 （略） 7 <u>2 又は 3 において、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして保険医療機関が地方厚生局長等に届け出た病棟に入院している患者について、当該基準に係る区分に従い、次に掲げる点数をそれぞれ 1 日につき所定点数に加算する。</u> イ <u>精神病棟看護・多職種協働加算（13 対 1 入院基本料の場合）</u> ●●点 ロ <u>精神病棟看護・多職種協働加算（15 対 1 入院基本料の場合）</u> ●●点</p> <p>【特定機能病院入院基本料】 [算定要件] 注 1～10 （略） 11 <u>3 のハ又はニにおいて、別に厚生労働大臣が定める施設基準に</u></p>	<p>【精神病棟入院基本料】 [算定要件] 注 1～6 （略） （新設）</p> <p>【特定機能病院入院基本料】 [算定要件] 注 1～10 （略）</p>

<p><u>適合しているものとして保険医療機関が地方厚生局長等に届け出た病棟に入院している患者について、次に掲げる点数をそれぞれ1日につき所定点数に加算する。</u></p> <p><u>イ 精神病棟看護・多職種協働加算（特定機能病院13対1入院基本料の場合） ●●点</u></p> <p><u>ロ 精神病棟看護・多職種協働加算（特定機能病院15対1入院基本料の場合） ●●点</u></p> <p>【精神科急性期治療病棟入院料】 [算定要件] 注1～3 （略）</p> <p><u>4 精神科急性期治療病棟入院料2において、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして保険医療機関が地方厚生局長等に届け出た病棟に入院している患者について、次に掲げる点数をそれぞれ1日につき所定点数に加算する。</u></p> <p><u>イ 精神病棟看護・多職種協働加算（精神科急性期治療病棟入院料2の場合）30日以内の期間 ●●点</u></p> <p><u>ロ 精神病棟看護・多職種協働加算（精神科急性期治療病棟入院料2の場合）31日以上60日以内の期間 ●●点</u></p> <p><u>ハ 精神病棟看護・多職種協働加算（精神科急性期治療病棟入院料2の場合）61日以上90日以内の期間 ●●点</u></p> <p>【精神病棟入院基本料】 [施設基準] 四の二 精神病棟入院基本料の施設基準等 （1）～（8） （略） <u>（9） 精神病棟入院基本料の注7に規定する厚生労働大臣が定め</u></p>	<p>（新設）</p> <p>【精神科急性期治療病棟入院料】 [算定要件] 注1～3 （略） （新設）</p> <p>【精神病棟入院基本料】 [施設基準] 四の二 精神病棟入院基本料の施設基準等 （1）～（8） （略）</p>
--	---

<p><u>る施設基準</u></p> <p><u>イ 精神病棟看護・多職種協働</u> <u>(13対1入院基本料の場合)</u></p> <p><u>の施設基準</u></p> <p>① <u>当該病棟において、一日</u> <u>に看護を行う看護職員、作</u> <u>業療法士、精神保健福祉士</u> <u>及び公認心理師の数は、常</u> <u>時、当該病棟の入院患者の</u> <u>数が十又はその端数を増す</u> <u>ごとに一以上であること。</u></p> <p>② <u>①の規定にかかわらず、</u> <u>当該病棟において、作業療</u> <u>法士、精神保健福祉士又は</u> <u>公認心理師の数は、一以上</u> <u>であること。</u></p> <p>③ <u>当該病棟の入院患者の平</u> <u>均在院日数が●●日以内で</u> <u>あること。</u></p> <p><u>ロ 精神病棟看護・多職種協働</u> <u>(15対1入院基本料の場合)</u></p> <p><u>の施設基準</u></p> <p>① <u>当該病棟において、一日</u> <u>に看護を行う看護職員、作</u> <u>業療法士、精神保健福祉士</u> <u>及び公認心理師の数は、常</u> <u>時、当該病棟の入院患者の</u> <u>数が十三又はその端数を増</u> <u>すごとに一以上であるこ</u> <u>と。</u></p> <p>② <u>①の規定にかかわらず、</u> <u>当該病棟において、作業療</u> <u>法士、精神保健福祉士又は</u> <u>公認心理師の数は、一以上</u> <u>であること。</u></p> <p>③ <u>当該病棟の入院患者の平</u> <u>均在院日数が●●日以内で</u> <u>あること。</u></p> <p>【特定機能病院入院基本料】 〔施設基準〕</p> <p>五 特定機能病院入院基本料の施設 基準等 (1)～(9) (略)</p>	<p>(新設)</p> <p>【特定機能病院入院基本料】 〔施設基準〕</p> <p>五 特定機能病院入院基本料の施設 基準等 (1)～(9) (略)</p>
--	---

<p>(10) <u>特定機能病院入院基本料の注11に規定する厚生労働大臣が定める施設基準</u></p> <p>イ <u>精神病棟看護・多職種協働（特定機能病院13対1入院基本料の場合）の施設基準</u> <u>四の二の（9）のイを満たすものであること。</u></p> <p>ロ <u>精神病棟多職種配置加算（特定機能病院15対1入院基本料の場合）の施設基準</u> <u>四の二の（9）のロを満たすものであること。</u></p> <p>【精神科急性期治療病棟入院料】 [施設基準]</p> <p>十五 精神科急性期治療病棟入院料の施設基準等 （1）～（5） （略） （6） <u>精神科急性期治療病棟入院料の注4に規定する精神病棟看護・多職種協働加算の施設基準</u> <u>四の二の（9）のロの①及び②を満たすものであること。</u></p>	<p>（新設）</p> <p>【精神科急性期治療病棟入院料】 [施設基準]</p> <p>十五 精神科急性期治療病棟入院料の施設基準等 （1）～（5） （略） （新設）</p>
--	---